

令和3年3月2日

教職員の皆様へ

常葉大学 学長 江藤 秀一
同短期大学部学長 木宮 健二

令和3年度の授業方針について

令和2年度は新型コロナウイルスの様々な影響を受けた年度でしたが、皆様方の感染防止対策への多大なるご配慮をいただきまして、授業及び行事をほぼ予定どおりに終了することができました。改めまして、感謝申し上げます。

令和2年度当初は、このウイルスに関して未知のことが多く、入学式も取りやめ、授業も6月8日まではポータル等を用いた遠隔授業を行いました。全学一斉の遠隔授業は本学にとりましては初めてのことでしたので、果たして、実施できるのだろうかと不安でしたが、教務部と情報センターとがタッグを組み、また、教職員の皆様のご尽力のお陰をもちまして、様々な問題を抱えながらも実施することができました。遠隔授業につきましては、授業の準備や教学支援のための教職員への負担増、通信の問題などが明らかになると同時に、教員にとっては感染の不安を抱くことなく、どこからでも授業を実施することができること、また、学生にとってはどこにいても授業を受けることができることや、繰り返し資料を見て理解を深めることができること、といった利点も発見できました。

しかし、遠隔と対面のどちらの授業が好ましいかという問いには、(遠隔授業の利点を認めながらも)ほとんどの学生が対面を望んでいることもわかりました。彼らにとって、大学は、知識や技能を身に付ける場であるだけでなく、様々な出会いの場であり、これからの生き方を考えていく大切な場であることを考えると当然の回答だったと思います。

以上のことを踏まえ、令和3年度も、令和2年度後期同様に、「学生・教職員の命と健康を守り、学内外への感染拡大抑止を最優先する」という本学の新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を守りつつ、感染症対策に万全を期し、可能な限り対面授業を中心に実施していきたいと考えております。

併せまして、これからの時代はオンライン営業やテレワークといったインターネットを使った仕事も当たり前になっていくことと思われまます。遠隔授業の効果が認められた科目につきましては遠隔授業を取り入れて、インターネットによる諸活動の日常化を学修する機会を与えたいと思います。各学部・学科等におきましては、すでにご検討いただいているところですが、改めましてこの方針をご確認いただき、各学部・学科にとりまして最も教育効果のあがる授業形態をとっていただきますようお願いいたします。

最後になりますが、この新型コロナウイルスの収束までにはまだしばらく時間がかかりそうです。皆様には何かとご苦勞とご負担をおかけいたしますが、どうぞ昨年度同様に、次年度もよろしくお力添えをお願いいたします。